

平成22年度食育推進活動表彰

長崎県では、平成19年度に、社会的貢献度が高く、他のモデルとなる実践的な食育活動に取り組んでいる団体及び個人を表彰する食育推進活動の知事表彰制度を創設しました。

平成22年度の受賞者をご紹介します。



毎年6月は「食育月間」毎月19日は「食育の日」
～いただきます 元気 ながさき おいしか県～

おめでとうございます。

受賞団体及び受賞者の方と表彰の対象となった活動内容は、次のとおりです。



団体

ＪＡながさき西海させば地区青年部

次世代を担う児童に対し、「食べ物を選ぶ力、味がわかる力、料理ができる力、食べ物の命を感じる力」を養うと共に、農業に対する理解を深めてもらいたいと、教育関係者、保護者、関係団体を巻き込んで、農業体験、加工・調理体験学習を通じた食育活動を行っている。また、米海軍佐世保地区エレメンタリースクール児童に対し、農業体験学習を通して、日本の食文化のPRを行っている。



生ごみ減量化リーダーネットワークながさき

県内各地の小・中学校生、幼稚園児等に生ごみの堆肥化や、元気野菜作り及びエコクッキング等の実践活動を通して、「食」の大切さを伝えている。地域リーダーは各市町と連携し、廃校のグラウンドや、未使用の市有地を利用して活動し、講演会では、生ごみの発生抑制・再利用と関連して、食物の地産地消の推進も図っている。この取り組みを通して、地域住民との連携を築くとともに、「食」と関連した交流から、地域コミュニティが形成されている。継続した活動ができるよう、指導者の人材育成も行っている。



松浦市立大崎小学校

食育活動歴13年におよび、全校児童が多彩な食育活動を行っている。米作りから野菜作り、家庭菜園、親の弁当作りなどの活動の他、収穫祭として、餅つきやレストランを開き、全校児童や地域の方、老人会、保護者にふるまう等、学校、保護者、地域が一体となって取り組んでいる。総合教科、生活科、行事等に組み入れ、学年で取り組むこと、たて割り班で取り組むことなど、活動方法に工夫がなされている。



おおせとオヤジ夜究教室

男性を中心とした、生涯学習の団体。食材は基本的に地産地消とし、会員で栽培したものや、地元産の食材を使用し、自己研鑽のための料理教室を開催しながら、食育活動の一環として、地元小学校の児童に対し、農業体験やピザ焼き、そば打ち体験を通して「食」の大切さを伝えている。これからは男女参画の時代。「家事は女性がすべし」の概念を払拭し、メンバーが持っている食育・教育・環境対策の知識を活かして、地域の食育活動に取り組んでいる。



大村ずしを伝えのこし隊



長崎空港で大村ずしを購入した県外の方が「食べた後のどが乾く」と言ったその言葉から、減糖・減塩でおいしい「大村ずし」を作ろうと科学的に研究し、健康づくりに着眼した新郷土料理ができあがった。組み合わせる献立メニューも考え、子どもから大人、高齢者まで、幅広く、健康と食文化を融合させて大村ずしを継承・普及させている。隊のメンバーは栄養士。職場を越えて、地域活動として取り組んでいる。

個人

梁瀬マスエ 氏

長年、有川で看護業務を努めていたが、平成9年から、食生活改善推進員として、ボランティア活動を開始。上五島の地域住民の健康づくりの案内役として「和」を大切に食育活動を展開しており、食事バランスガイドの普及、ヘルシーメニューコンクール、中学生を対象とした、良い食生活習慣作りに取り組む等、多岐にわたる食育活動を行っている。生活習慣病予防にも力を入れ、肥満や糖尿病予防の料理を通して、予防のための普及活動を行っている。



平成19年度受賞団体及び個人とその食育活動

- スナッピーズ 子ども達によるミュージカルや食育フェスティバルの開催等。
袖木生活学校 食事と健康、食品の安全、食品表示等のテーマによる調査活動。
雲仙保育園 小学生への郷土料理伝承活動等。
小尾慶子 氏 食育の5つの基本理念を掲げての、給食をはじめ、様々な体験活動を通した子ども達への食育活動等。
竹嶋 巖 氏 NPO「大地といのちの会」の「生ゴミリサイクル元気野菜づくり」を中心とした、学校や地域の様々な団体を対象とする食育活動等。
畑や種苗、肥料等を無償で提供し、子ども達への農業体験活動を実施。学校における「地域の先生・ゲストティーチャー」としての指導等。

平成20年度受賞団体及び個人とその食育活動

- J A 壱岐市青年部那賀支部 食育プロジェクト「壱岐ダッシュ村」。児童・保護者・地域住民による食育活動。
私立保育園ミミ- 生ごみリサイクル元気野菜づくりを中心とした体験学習、食育活動等。
(社)長崎魚市場協会 学校・公民館等での魚調理教室の実施など魚食を中心とした食育活動。
浦多津子 氏 食改として幅広い食育活動を展開(エコクッキングの推進等)市の各種委員も歴任。
高木龍雄 氏 学校現場で地元の食文化を体験させる活動や児童の体験学習の受け入れ等。

平成21年度受賞団体及び個人とその食育活動

- 新田保育園 生ごみリサイクル元気野菜づくりを中心とした体験学習、親子クッキングによる食育活動等。
西海市崎戸小学校 地元ボランティア団体との交流による野菜栽培体験学習、朝市での販売、郷土料理等の食育学習等。
食育で西諫早を元気にする会 「食カルタ」や「幼・老交流会」など、子どもから高齢者まで幅広い対象に向けた食育活動等。
生活協同組合ララコープ 「通信型食育プログラム」を使った親子の食育普及、生産者との交流会、食の安全学習会等の食育活動。
島田昌子 氏 失われつつある保存食や常備祭等、おふくろの味の伝承(ラジオ、出版、公民館講座等)を中心とした食育活動等。



内閣府「平成22年度食育推進に関するポスター」

サトウ ジョウ
佐藤 丈

埼玉県・所沢市立向陽中学校・1年

平成22年7月 長崎県食品安全・消費生活課
(電話) 095-895-2366 (FAX) 095-824-4780